

# 第57期 株主通信

2023年4月1日 - 2024年3月31日



# 皆様とともに成長し、 発展を分かち合う企業へ。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第57期（2023年4月1日～2024年3月31日）の営業状況をご報告申し上げ、中期経営計画にもとづく成長戦略の進展と今後の展開をご説明させていただきます。

2024年6月

代表取締役社長 **加納 慎也**



Q

## 2024年3月期を振り返り、事業環境と営業状況をご説明願います。

A

この1年は、コロナ禍明けによる企業収益の改善などを受け、都市部を中心にオフィス需要が増加し、積極投資の動きが拡がりました。都市部以外にも地方都市における半導体工場の建設など、企業の積極的な設備投資により、建築業界全体が活発化しました。また商業施設関連も、東京・大阪を中心にビルの新築が増え、盛況を示しました。そうした中で当社は、都市部におけるショールーム展開やオフィス専門拠点の設置などの営業施策とともに新製品の開発・投入を進め、需要の拡大を取り込んでまいりました。結果として2024年3月期の業績は、期初予想を大きく上回る形で増収・増益を遂げました。

※業績の詳細は3頁以降をご参照ください。

業績に貢献した要素としては、オフィス需要の増加を背景に可動間仕切が好調に進捗し、高価格帯である「マイティスマートレール」が売上を伸ばしました。さらに固定間仕切についても多くの受注をいただくことができました。また2023年9月に名古屋ショールームをグランドオープンし、施主様や事務器メーカーの皆様にご社の認知度を高めた効果も大きかったと思います。利益面では、2022年に実施した2回の価格改定が浸透したことで、利益率の向上に寄与しました。

総じて社員一人ひとりの頑張りにより、大きな成果を上げることができた1年と捉えています。さらなるステップアップに向けて経営陣が議論を重ね、社員の努力を会社の持続的成長につなげてまいります。



## 中期経営計画の初年度進捗と今後の展開をお聞かせください。

2024年3月期より始動した5ヶ年中期経営計画「NEXT VISION 2028」は、「既存間仕切事業の成長」「新規製品の創出」「生産・物流オペレーションの高度化」を基本方針に定め、これにもとづく成長戦略の遂行により、最終年度（2028年3月期）の業績において「売上高年平均成長率3～6%（2023年3月期基準）」「売上高営業利益率7～10%」「ROE 5～8%」の達成を目指すものです。

計画初年度は、「既存間仕切事業の成長」への取り組みとして、首都圏を中心としたオフィス市場へのさらなる進出、および移動間仕切製品のオフィス分野への展開をめざし、全国のショールームを活用した営業活動を実施しました。今後は、可動間仕切・移動間仕切ともに高級ラインの製品投入を予定しており、ショールームや販促物を通じたブランディング強化に向けた訴求も進め、当社のブランド価値向上につなげていく考えです。

「新規製品の創出」の取り組みでは、従来の間仕切にない

意匠性や家具寄りの製品ニーズへの対応、外装分野への展開などを開始し、販促物の制作も外部デザイナーとの協業を通じてレベルアップを図りました。今後の課題は、さらなる新規性を形にするための体制づくりだと認識しています。

「生産・物流オペレーションの高度化」については、これからの動きとなりますが、加賀工場の生産増強とストックヤードの拡張に向けて、2号棟の建設を決定しました。着工は2025年2月、操業開始は2026年6月を見込み、総額約95億円を投資する予定です。中期経営計画では、当初「5年間で累計50億円以上」の投資実行を想定していましたが、本件工場建設の決定に伴い、投資額を「5年間で累計150億円以上」に変更しました。

前述の計画目標に対し、初年度の業績は極めて順調な進捗となりましたが、当面は目標設定を上方修正せず、品質の保持と業務負荷の状況を踏まえ、コスト環境の変化も見極めながら、達成を目指していきます。



## 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

株主の皆様への利益還元については、純資産配当率（DOE）3.0%を下限とし、配当水準の安定的向上を目指す「株主還元方針」を定めています。今回の期末配当は、同方針を踏まえたうえで、さらに増益を反映し、1株当たり70円とさせていただきます。これにより年間配当額は、中間配当の同55円と合わせて同125円（前期比30円増配）、DOEは3.1%となりました。2025年3月期は、増収・増益の継続を見込んでおり、利益還元として年間配当額同130円（中間60円・期末70円）を予定しています。

なお当社は、サステナビリティ経営のさらなる推進に向

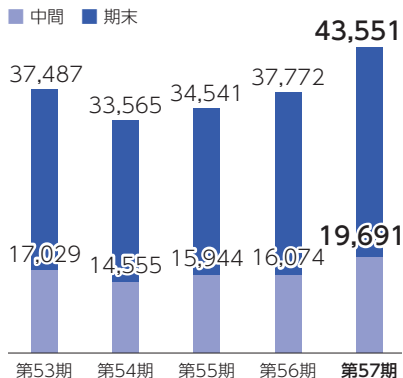
けて、2024年4月に重要課題（マテリアリティ）を改訂し、ESGテーマにもとづく活動について社内目標を設定しました。これに先立ち2023年8月には「パートナーシップ構築宣言」への賛同・登録、2024年2月には「マルチステークホルダー方針」の策定を行い、ステークホルダーエンゲージメントの強化を図っています。

株主の皆様をはじめ、お客様ならびに取引先様、地域社会の皆様、そして社員を含む全てのステークホルダーとともに持続的に成長し、豊かな発展を分かち合う企業を実現すべく、私たちは前進し続けてまいります。

# 業績ハイライト

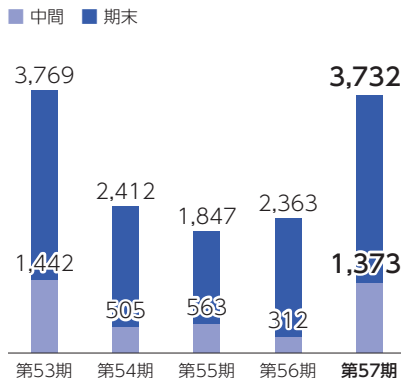
## 売上高

(単位：百万円)



## 経常利益

(単位：百万円)

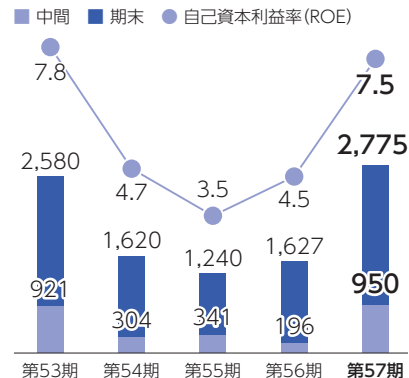


## 当期純利益

(単位：百万円)

## 自己資本利益率 (ROE)

(単位：%)

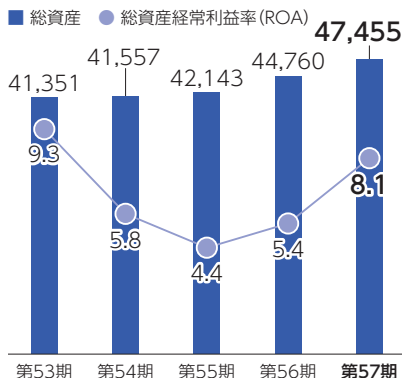


## 総資産

(単位：百万円)

## 総資産経常利益率 (ROA)

(単位：%)

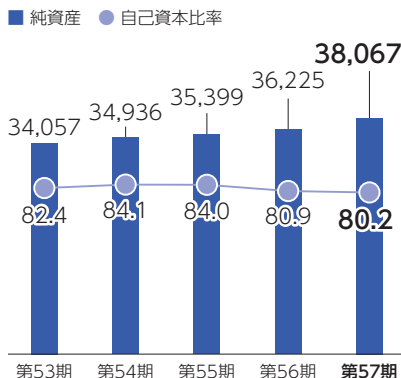


## 純資産

(単位：百万円)

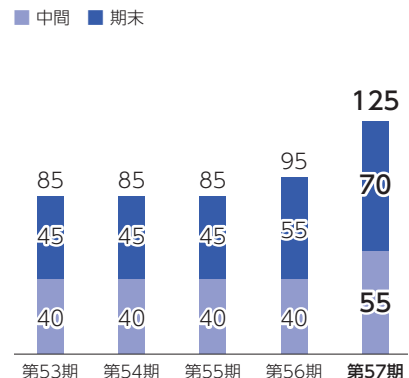
## 自己資本比率

(単位：%)



## 1株当たり配当金

(単位：円)



決算情報の詳細は、小松ウォール工業のWebサイトでもご紹介しています。

<https://www.komatsuwall.co.jp/ir/library/>



# 財務諸表要旨

## 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当事業年度 2023年4月1日～ 2024年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	29,999	32,539
固定資産	14,760	14,915
有形固定資産	11,922	11,767
無形固定資産	420	385
投資その他の資産	2,418	2,763
資産合計	44,760	47,455
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,098	6,940
固定負債	2,437	2,447
負債合計	8,535	9,388
<b>純資産の部</b>		
株主資本	36,180	37,970
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	32,627	34,361
自己株式	△ 2,582	△ 2,525
評価・換算差額等	45	96
その他有価証券評価 差額金	45	96
純資産合計	36,225	38,067
負債純資産合計	44,760	47,455

## 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当事業年度 2023年4月1日～ 2024年3月31日
売上高	37,772	43,551
売上原価	25,363	28,804
売上総利益	12,408	14,746
販売費及び一般管理費	10,101	11,105
営業利益	2,306	3,640
営業外収益	56	91
経常利益	2,363	3,732
特別利益	89	19
特別損失	6	7
税引前当期純利益	2,446	3,744
法人税、住民税及び事業税	952	1,076
法人税等調整額	△ 133	△ 107
法人税等合計	818	968
当期純利益	1,627	2,775

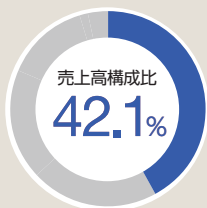
## キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当事業年度 2023年4月1日～ 2024年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,676	4,273
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 636	△ 1,171
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 810	△ 1,056
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	230	2,044
現金及び現金同等物の 期首残高	11,246	11,476
現金及び現金同等物の 期末残高	11,476	13,521

## 品目別概況

### 可動間仕切



レイアウト変更の際、使用方法に応じて撤去、移設が可能な間仕切であります。

### 固定間仕切



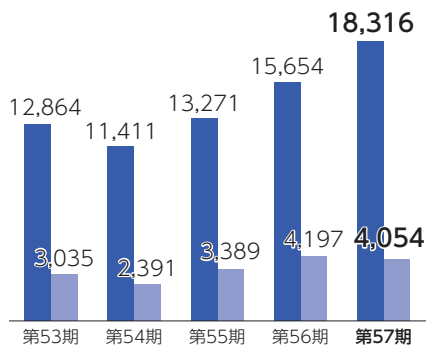
建物付帯工事として溶接により躯体に取付ける間仕切ならびに壁面化粧鋼板パネルの金属工事であります。

### トイレブース

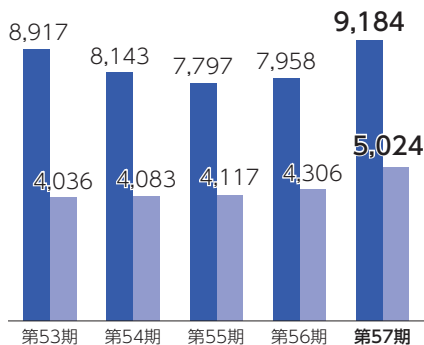


ユニット化したトイレ専用の間仕切であります。

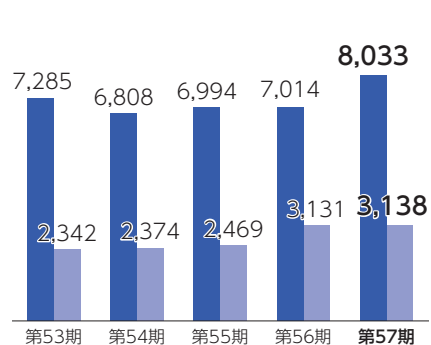
■ 売上高 ■ 期末受注残高  
(単位：百万円)



■ 売上高 ■ 期末受注残高  
(単位：百万円)



■ 売上高 ■ 期末受注残高  
(単位：百万円)



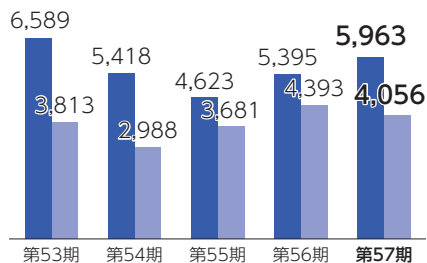


## 移動間仕切

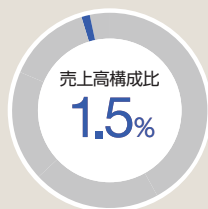


ホテルの宴会場等の間仕切として、ユーザー自身が移動させて使用する間仕切であります。

■ 売上高 ■ 期末受注残高  
(単位：百万円)

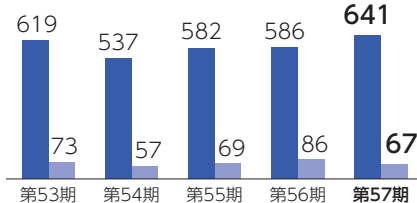


## □一間仕切

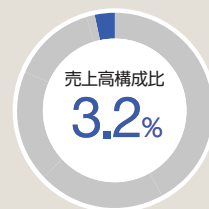


主に、オフィス用衝立およびローパーテーション等のオフィス家具であります。

■ 売上高 ■ 期末受注残高  
(単位：百万円)

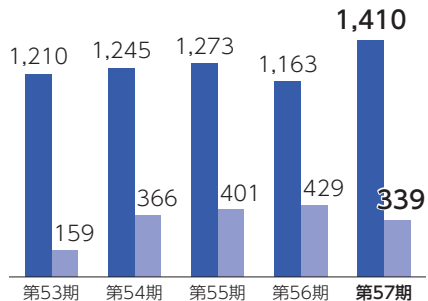


## その他



主に、ABW型の働き方に対応した間仕切ならびに既存間仕切の解体・移設組立であります。

■ 売上高 ■ 期末受注残高  
(単位：百万円)





# 101 TOKYO SHOWROOM 2024.6.6 新エリア グランドオープン

2024年6月、小松ウオールはライブオフィス兼ショールーム「101 TOKYO SHOWROOM (ワンオーワン東京ショールーム)」を増床し、新エリアをグランドオープンいたしました。

オフィス・学校・病院の間仕切からトイレブースまで様々なニーズにお応えする101種類の製品を体感いただけます。また、案件に応じたカスタム製品を試作できるモックアップエリアも引き続きご利用可能です。



**DATA >>**  
KANDA SQUARE  
東京ショールーム

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町二丁目2-1 KANDA SQUARE 15F-16F  
TEL 03-5280-9241 (代) 営業時間 9:00~18:00 (休館日) 土・日・祝  
ショールームにお越しになられる場合は、事前にご予約をお願いいたします。







## ショールームで生み出す体験

間仕切の専門企業として、常に一歩先の研究、開発を行ってきた小松ウォール。私たちの製品の玄関口となり、より深く小松ウォールを知ってもらいたい。そんな思いから、「入門編」の意味をもつ「101 (ワンオーワン)」と名付けたショールームがつけられました。



TOKYO SHOWROOM

今回ブランドオープンした新エリアは、小松ウォールの製品の新しい使い方を提案しつつ、新しい働き方を試すことができるエリアとして、エグゼクティブエリア、スタジオエリア、ドロップインエリア、カフェエリアなど、それぞれ特色をもった複数の空間によって構成されており、様々な製品を体感いただけます。

また当社ブランドアイデンティティを表現したモチーフが各所に散りばめられ、そのほか本社の小松工場を連想させるアートや空間もあり、様々な工夫、遊び心も取り入れています。

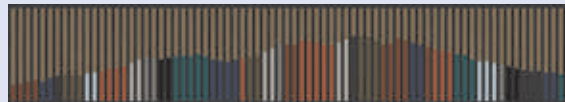
さらに魅力を増した「101 TOKYO SHOWROOM」に是非お越しください。

## 102個目の製品を目指して。

今後とも小松ウォールにご期待ください。

## POINT

### 白山連峰を表現した会議室 木材アート



トイレブースの芯材として使われる木と色付き鋼板を使い、工場から望む白山連峰を表現。

### ブランドアイデンティティを表現した壁

空間の中心を貫く象徴となる壁には、小松ウォールブランドとして既に総合カタログ、名刺にも展開されているブランドデザインを使用しています。

カフェ、ダイニング側のデザインは小松ウォールのアイデンティティを表現しており、モノづくりに対する姿勢、製品開発に必要な緻密な設計と発想力を製図のラインで表現しています。

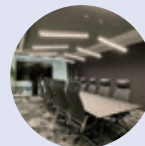


### 40mm角ポールを用いたシャンデリア

当社製品で一番多く使用されている40mm角ポールから連想して作ったシャンデリアが空間を華やかに演出し、来られるお客様をお迎えます。

### 工場を思わせる照明

工場の塗装ライン（最終検査ゾーン）を思わせる照明デザインを採用。小松ウォール製品の品質の高さと、品質に対する強い自信を表現。



### 新製品紹介

2023年6月発売

## 選べるデザインで空間をゆるく仕切る「DECO FRAME」



仕切りたいけど開放感は大切にしたい場所に、ゆるく仕切って適度な距離感を作り出せるデザインフレーム「DECO FRAME」を発売いたしました。天井に取り付けたガイドレールに沿って、キャスターで直線移動できるタイプと、天井レール、床レールで上下を固定するタイプが選択可能。表面バリエーションも豊富にご用意しておりますので、空間に応じてさまざまなデザインを楽しむことができます。



表面のバリエーション一覧

2023年11月発売

## OSB Product Series 「mokumo」

OSBを表面材に使用したトイレブース「mokumo」シリーズを発売いたしました。OSBは、工業的な面材でありながら、天然素材の面影を残し、木片の重なりが自然物のような二つとない風合いを持ちます。「mokumo」シリーズでは、材が持つ風合いに、色やつやを重ねることで、様々な表情を持つ壁装材としてデザインにアクセントをもたらします。またFM認証を取得しているKronospan社製のOSBを用いており、持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮した仕様となっております。

※OSB (Oriented Strand Board) … 薄く削られた木片を平行に配向させて積層、接着剤を使って高温圧縮した合板

**mokumo**  
Kronospan Wall OSB Product Series



Photo : Takumi Ota

## サステナビリティへの取り組みについて



### 石川県グリーンボンドへの投資

小松ウオールは、2024年2月に石川県が発行するグリーンボンドへの投資をいたしました。本債券の調達資金は、カーボンニュートラルの実現やトキの生息環境の保全・継承など環境問題の解決に向けた事業に充当されます。本債券をはじめとしたESG領域における投融資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### マルチステークホルダー方針の策定

小松ウオールは、2024年2月26日にマルチステークホルダー方針を策定いたしました。当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。詳細については当社Webサイトにアクセスしてご覧ください。

<https://www.komatsuwall.co.jp/sustainability/policy/pdf/multi-stakeholder.pdf> ▶



### 健康経営優良法人2024認定

従業員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に取り組んでいる法人として、小松ウオールは経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に2年連続2度目の認定を受けました。今後も従業員一人ひとりの心身の健康保持・増進と、働きやすい職場づくりを目指して健康経営を推進していきます。

### 令和6年能登半島地震に対する災害義援金寄付

令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様とご家族および関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。当社は、この地震により被災された皆様への支援および被災地の復興にお役にいただくため、石川県を通じて災害義援金1億円の寄付を行いました。被災された皆様の安全と被災地域の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

# 会社概要 / 株主メモ (2024年3月31日現在)

## 会社概要

商号 小松ウォール工業株式会社  
(KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD)

設立 1968年1月22日

資本金 3,099,945,552円

事業目的 1. スチールおよびアルミニウム製品の製造、販売ならびに工事施工  
2. 室内装備品の販売および設計施工  
3. 前各号に附帯する一切の事業

従業員数 1,353名

(注) 従業員数には、嘱託およびパートタイマー (計44名) は含まれておりません。

## 取締役一覧 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長執行役員 加納 慎也

取締役常務執行役員 山田 新一

取締役常務執行役員 廣瀬 紀夫

取締役常務執行役員 綾 由紀夫

取締役 蜂谷 俊雄

取締役 古谷 まゆみ

取締役常勤監査等委員 比嘉 正人

取締役監査等委員 中田 浩一

取締役監査等委員 松山 純子

(注) 取締役 蜂谷俊雄氏、古谷まゆみ氏、中田浩一氏および松山純子氏は社外取締役であります。

## 株式の状況

発行可能株式総数 25,000,000株 単元株式数 100株  
発行済株式の総数 10,903,240株 株主数 8,318名

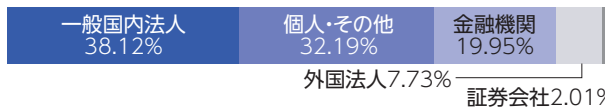
## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
KANO株式会社	1,731,849	18.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,000,100	10.57
株式会社北國銀行	442,280	4.67
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	431,300	4.56
小松ウォール工業従業員持株会	349,040	3.69
有限会社マルヨ	193,000	2.04
原田株式会社	180,000	1.90
加納 裕	161,012	1.70
明治安田生命保険相互会社	154,600	1.63
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	154,400	1.63

(注) 1. 持株比率は自己株式(1,437,397株)を控除して計算しております。  
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社および株式会社日本カストディ銀行の持株数は、信託業務に係るものであります。  
3. 株式会社日本カストディ銀行が保有する431,300株には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産143,000株が含まれております。

## 所有者別株式数分布

※自己株式は一般国内法人に含んでおります。



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場

株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

定時株主総会 6月

単元株式数 100株

公告方法 電子公告 (<https://www.komatsuwall.co.jp>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目3番3号  
みずほ信託銀行株式会社

小松ウォール工業株式会社

石川県小松市工業団地1丁目72番地

[www.komatsuwall.co.jp](http://www.komatsuwall.co.jp)



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

